

卒業生アンケートについて（ご報告）

I R室

卒業生調査として、2018年度から本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度、学生生活の経験、実社会において必要と考える能力、今後本学の教育や学生支援に期待すること、生涯学習に関して本学に期待すること、転職予定と検討業種等についてアンケートを実施しています。

2019年度についても、2015年度卒業生・2016年度卒業生を対象に、2019年度同様のアンケートを実施しました（2019年12月～2020年2年1月に教務課・キャリアサポート課が実施）

なお、能力評価については、2012年度改訂カリキュラム以前の教育課程による卒業生に関するものとなります。

また、参考として比較に用いた卒業時調査は、2019年度卒業生を対象とした際の結果です。

【結果概要（別紙集計データ参照）】

<全体>

- ・回答要請卒業生数は、2015～2016年度卒業生613名であり、回答数が175名（約29%）となった。なお、回答者の卒業年度に特段大きな偏りはない。
- ・回答した卒業生の現在の業種は、病院（29%）、薬局（29%）、企業（計19%）、ドラッグストア（9%）、その他（9%）、公務員（行政）（5%）という構成である。
- ・卒業生の進路・就職状況から教育成果等を検討するため、「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」「グループ②：企業（研究）、企業（開発）、企業（MR）」「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」に区分して、以下のとおり、問2・3については結果確認を進めた。

○前回調査結果との主な違い

- ・回答率については10%程度低い（前回調査において回答があった2015年度卒業生に対しては回答不要の旨案内しているため）。各設問の回答結果についても総じて大きな変化はない。

<問2：本学の教育満足度>

○カリキュラム・ポリシーに準じて、(1)基礎教育・ヒューマニズム教育科目、(2)語学教育科目、(3)薬学専門教育科目、(4)医療薬学教育科目、(5)実務実習、(6)卒業研究の区分で調査した。卒業時調査における設問内容と同様。

○「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」の回答

- ・「満足」の割合は(5)が50%と高く、(3)・(4)が約40%となっている。
- ・「満足」「どちらかと言えば満足」の割合の合計は(3)・(4)が約90%と高いが、(2)が55%と比較的低い。
- ・「どちらかと言えば不満足」の割合は(2)が36%、(1)が25%、(6)が19%と他に比べて高く、「不満足」の割合についても(1)が9%、(2)が19%、(6)が7%と高い。なお、(2)については「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合の合計が50%を超えている。

○「グループ②：企業（研究）、企業（開発）、企業（MR）」の回答

- ・「満足」の割合は(3)～(6)が約40%と高い。
- ・「満足」「どちらかと言えば満足」の割合の合計は(3)・(5)が約90%、(4)が約80%と高いが、(2)が44%と比較的低い。
- ・「どちらかと言えば不満足」の割合は(2)が41%、(1)が約28%と他に比べて高く、(4)～(6)も約20%となっている。なお、(2)については「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合の合計が50%を超えている。

○「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」の回答

- ・「満足」の割合は（4）が52%、（3）・（5）が40%と高い。
- ・「満足」「どちらかと言えば満足」の割合の合計は（3）が約90%、（4）～（6）が約80%と高いが、（2）が44%と比較的低い。
- ・「どちらかと言えば不満足」の割合は、（2）が32%、（1）が約20%と他に比べて高く、（2）については「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合の合計が50%を超えている。

○回答区分に配点したグループ比較

「満足」・・・2点、「どちらかと言えば満足」・・・1点、

「どちらかと言えば不満足」・・・-1点、「不満足」・・・-2点 として算定

※グループ毎に構成数が異なるため、算定された合計点を構成数で割り、均等化して比較する。

※グループにおいて0.8点以上を赤、0.5点未満を青で記載。グループ全体で2.4点以上を赤、1.5点未満を青で記載。

	グループ① (前回数点)	グループ② (前回数点)	グループ③ (前回数点)	合計 (前回数点)	2019年度卒 卒業時調査
(1) 基礎教育・ヒューマニズム教育科目	0.42点 (0.55点)	0.41点 (0.48点)	0.48点 (0.41点)	1.31点 (1.43点)	0.78点
(2) 語学教育科目	-0.13点 (-0.13点)	-0.13点 (-0.54点)	-0.28点 (-0.40点)	-0.53点 (-1.07点)	0.41点
(3) 薬学専門教育科目	1.13点 (1.23点)	1.09点 (1.25点)	1.08点 (1.27点)	3.30点 (3.76点)	0.86点
(4) 医療薬学教育科目	1.14点 (1.31点)	1.00点 (1.30点)	1.12点 (1.23点)	3.26点 (3.84点)	0.88点
(5) 実務実習	1.15点 (1.21点)	1.06点 (1.07点)	0.76点 (0.99点)	2.98点 (3.28点)	0.95点
(6) 卒業研究	0.73点 (0.59点)	0.63点 (0.76点)	0.72点 (0.68点)	2.07点 (2.04点)	0.97点
合計	4.45点 (4.75点)	4.06点 (4.33点)	3.88点 (4.19点)	—	4.85点

- ・グループ別の合計点から、グループ③の評価が低い。
- ・（3）～（5）については、全グループの評価が高い。
- ・（1）・（2）については、全グループの評価が低い。特に（2）はマイナス評価となっている。
- ・卒業時調査との比較としては、（3）・（4）・（5）は高く、（1）・（2）・（6）は低い。

○前回調査結果との主な違い

- ・各グループの合計点数が低くなっている。
- ・（2）の点数が高くなっている。（1）・（3）～（5）の点数が低くなっている。
- ・グループ①の（1）の点数が0.5点未満となっている。
- ・グループ③の（5）の点数が0.8点未満となっている。

<問3：本学の教育を通じて身についた能力>

○ディプロマ・ポリシーに準じて、（1）薬剤師としての心構え、（2）患者・生活者本位の視点、（3）コミュニケーション能力、（4）チーム医療への参画、（5）基礎的な科学力、（6）薬物治療における実践的能力、（7）地域の保健・医療における実践的能力、（8）研究能力、（9）自己研鑽、（10）教育・指導能力、（11）文章表現力・数的処理能力、（12）国際感覚・異文化理解の区分で調査した。卒業時調査における設問内容と同様。

○「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」の回答

- ・「身に付いた」の割合は、（1）・（2）・（5）・（9）が約30%と高い。
- ・「身に付いた」「どちらかと言えば身に付いた」の割合の合計は（1）・（5）・（9）が約80%、（2）・（9）が約70%と高いが、（12）が22%と低い。

・「どちらかと言えば身に付いていない」の割合は、(4)・(7)・(8)・(10)～(12)が30%を超えており高く、(4)・(7)・(8)・(10)～(12)については「どちらかと言えば身に付いていない」「身に付いていない」の割合の合計が約40%を超えており、特に(12)が約80%となっている。

○「グループ②：企業（研究）、企業（開発）、企業（MR）」の回答

・「身に付いた」の割合は、(3)・(5)・(9)が約30%と高い。
 ・「身に付いた」「どちらかと言えば身に付いた」の割合の合計は(1)が約80%、(2)・(5)・(6)・(9)が約70%と高いが、(12)が12%と低い。
 ・「どちらかと言えば身に付いていない」の割合は、(2)～(4)・(7)・(8)・(10)～(12)が30%を超えており高く、(3)・(4)・(7)・(8)・(10)～(12)については「どちらかと言えば身に付いていない」「身に付いていない」の割合の合計が約40%を超えており、特に(12)が約90%となっている。

○「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」の回答

・「身に付いた」の割合は、(1)・(5)が約40%、(2)が約30%と高い。
 ・「身に付いた」「どちらかと言えば身に付いた」の割合の合計は(1)・(5)が約80%、(3)・(7)～(9)が約70%と高いが、(12)が20%と低い。
 ・「どちらかと言えば身に付いていない」の割合は、(10)～(12)が30%を超えており高く、(2)・(4)・(6)・(10)～(12)については「どちらかと言えば身に付いていない」「身に付いていない」の割合の合計が約40%を超えており、特に(12)が約80%となっている。

○回答区分に配点したグループ比較

「身につけている」…2点、「どちらかと言えば身につけている」…1点、

「どちらかと言えば身につけていない」…-1点、「身につけていない」…-2点として算定

※グループ毎に構成数が異なるため、算定された合計点を構成数で割り、均等化して比較する。

※グループにおいて0.8点以上を赤、0.5点未満を青で記載。グループ全体で2.4点以上を赤、1.5点未満を青で記載。

	グループ① (前回点数)	グループ② (前回点数)	グループ③ (前回点数)	合計 (前回点数)	2019年度卒 卒業時調査
(1) 薬剤師としての心構え	0.81点 (0.85点)	0.72点 (0.91点)	0.80点 (0.72点)	2.33点 (2.48点)	1.04点
(2) 患者・生活者本位の視点	0.55点 (0.49点)	0.59点 (0.82点)	0.48点 (0.54点)	1.62点 (1.85点)	1.04点
(3) コミュニケーション能力	0.33点 (0.33点)	0.19点 (0.07点)	0.48点 (0.24点)	1.00点 (0.64点)	0.79点
(4) チーム医療への参画	0.10点 (0.20点)	0.22点 (0.40点)	0.20点 (0.07点)	0.52点 (0.68点)	0.80点
(5) 基礎的な科学力	0.85点 (0.86点)	0.53点 (0.73点)	1.08点 (0.85点)	2.46点 (2.44点)	0.83点
(6) 薬物治療における実践的能力	0.62点 (0.54点)	0.53点 (0.46点)	0.32点 (0.46点)	1.47点 (1.46点)	0.81点
(7) 地域の保健・医療における実践的能力	0.07点 (0.07点)	0.09点 (0.12点)	0.48点 (0.20点)	0.64点 (0.39点)	0.78点
(8) 研究能力	0.43点 (0.17点)	-0.06点 (0.01点)	0.60点 (0.04点)	0.97点 (0.23点)	0.76点
(9) 自己研鑽	0.71点 (0.71点)	0.59点 (0.63点)	0.44点 (0.57点)	1.75点 (1.91点)	0.90点
(10) 教育・指導能力	0.03点 (-0.06点)	-0.06点 (0.00点)	0.28点 (-0.13点)	0.24点 (-0.18点)	0.51点
(11) 文章表現力・数的処理能力	0.00点 (-0.07点)	-0.03点 (-0.13点)	-0.20点 (-0.23点)	-0.23点 (-0.43点)	0.42点
(12) 国際感覚・異文化理解	-0.81点 (-0.96点)	-1.06点 (-1.03点)	-0.80点 (-0.99点)	-2.68点 (-2.97点)	0.10点
合計	3.69点 (3.13点)	2.25点 (3.00点)	4.16点 (2.35点)	-	8.78点

- ・グループ別の合計点から、グループ②の評価が低い。
- ・(1)・(5)については、全グループの評価が高い。
- ・(3)・(4)・(6)～(8)・(10)～(12)については、全グループの評価が低い。特に(11)・(12)はマイナス評価となっている。
- ・(5)については、グループ②の評価が比較的低い。
- ・(8)については、グループ③の評価が高い。
- ・(9)については、グループ①の評価が高い。
- ・卒業時調査との比較としては、(5)を除き全体的に低く、(4)・(7)・(12)は特に低い。

○前回調査結果との主な違い

- ・グループ①③の合計点数が高くなっている。グループ②の合計点数が低くなっている。
- ・(3)・(7)・(8)・(10)～(12)の点数が高くなっている。(1)・(2)・(4)・(9)の点数が低くなっている。
- ・グループ①の(2)の点数が0.5点以上となっている。
- ・グループ②の(1)・(2)の点数が0.8点未満、(6)の点数が0.5点以上となっている。
- ・グループ③の(1)の点数が0.8点以上、(2)の点数が0.5点未満、(8)の点数が0.5点以上となっている。

<問4：本学の施設・設備の満足度>

○(1) 講義にかかわる施設・設備、(2) 実習にかかわる施設・設備、(3) 研究にかかわる施設・設備、(4) 学生生活にかかわる施設・設備の区分で調査した。卒業時調査における設問内容と同様。

- ・「満足」「どちらかと言えば満足」の割合の合計は、全体的に70%を超えており、(2)が約90%、(1)・(3)が約80%となっている。
- ・「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合の合計は、(4)が約30%と高い。

○回答区分に配点した比較

「満足」…2点、「どちらかと言えば満足」…1点、

「どちらかと言えば不満足」…-1点、「不満足」…-2点 として算定

※算定された合計点を構成数で割り、均等化して比較する。

※0.8点以上を赤で記載。

	卒業生調査 (前回点数)	2019年度卒 卒業時調査
(1) 講義にかかわる施設・設備	0.92点 (1.16点)	0.62点
(2) 実習にかかわる施設・設備	1.31点 (1.38点)	0.93点
(3) 研究にかかわる施設設備	0.97点 (0.91点)	0.75点
(4) 学生生活にかかわる施設・設備	0.66点 (0.80点)	0.61点

- ・(4)については、評価が比較的低い。
- ・卒業時調査との比較としては、全体的に高い。

○前回調査結果との主な違い

- ・(1)・(2)・(4)の点数が低くなり、(4)の点数が0.8点未満となっている。

<問5：本学での学生生活の経験>

- (1) 入学前と比べて大学での学生生活によって自分が良い方向に変わったと思いますか。(2) 大学での経験が仕事に役立っていると思いますか。(3) 大学での経験が仕事以外の社会生活に役に立つと思いますか。の区分で調査した。
・「はい」「どちらかと言えば、はい」の割合の合計は、全体的に80%を超えている。

○回答区分に配点した比較

「はい」・・・2点、「どちらかと言えば、はい」・・・1点、
「どちらかと言えば、いいえ」・・・-1点、「いいえ」・・・-2点 として算定

※0.8点以上を赤で記載。

	卒業生調査 (前回数)	2019年度卒 卒業時調査
(1) 入学前と比べて大学での学生生活によって、自分が良い方向に変わったと思いますか。	1.03点 (1.23点)	0.94点
(2) 大学での経験が仕事に役立っていると思いますか。	0.87点 (1.00点)	1.01点
(3) 大学での経験が仕事以外の社会生活に役に立つと思いますか。	0.89点 (0.73点)	0.86点

・卒業時調査との比較としては、(2)が低い。

○前回調査結果との主な違い

- ・(1)・(2)の点数が低くなっている。(3)の点数が高くなり、0.8点以上となっている。

<問6：実社会において必要と考える能力>

	卒業生調査 (今回)	回答数	卒業生調査 (前回)	回答数	2019年度卒 卒業時調査	回答数
上位	コミュニケーション能力	163	コミュニケーション能力	420	コミュニケーション能力	193
	問題発見・解決能力	101	問題発見・解決能力	315	問題発見・解決能力	133
	専門知識・技能	74	チームワーク	192	専門知識・技能	114
	論理的思考力	64	専門知識・技能	187	倫理観	107
	自己研鑽	62	積極性・リーダーシップ	180	チームワーク	105
下位	文章表現力	33	企画力・計画力	89	企画力・計画力	31
	幅広い教養	33	文章表現力	67	語学力・国際感覚	22
	企画力・計画力	25	語学力・国際感覚	38	文章表現力	20
	社会問題の理解	12	社会問題の理解	22	社会問題の理解	18
	語学力・国際感覚	11	情報リテラシー	19	情報リテラシー	17
	情報リテラシー	7				

・卒業時調査との比較としては、「論理的思考力」「自己研鑽」が上位となっており、「文章表現力、幅広い教養」が下位となっている。

○前回調査結果との主な違い

- ・上位から「チームワーク」「積極性・リーダーシップ」が外れ、「論理的思考力」「自己研鑽」が入っている。
・下位に「幅広い教養」が入っている。

<問7- (1) : 今後充実させて欲しい教育分野>

	卒業生調査 (今回)	回答数	卒業生調査 (前回)	回答数	2019年度卒 卒業時調査	回答数
上位	医療薬学教育	110	医療薬学教育	278	薬学専門教育	143
	薬学専門教育	103	薬学専門教育	264	医療薬学教育	125
	実務科目	66	実務科目	208	語学教育	94
	語学教育	46	キャリア教育	148	基礎教育・ヒューマニズム教育	89
	キャリア教育	45	実習科目	125	実務科目	70
下位	基礎教育・ヒューマニズム教育	35	基礎教育・ヒューマニズム教育	91	卒業研究	25
	卒業研究	18	卒業研究	88	実習科目	19

・卒業時調査との比較としては、「キャリア教育」が上位となっており、「基礎教育・ヒューマニズム教育」が下位となっている。

○前回調査結果との主な違い

- ・上位から「実習科目」が外れ、「語学教育」が入っている。

<問7- (2) : 今後充実させて欲しい教育内容>

	卒業生調査 (今回)	回答数	卒業生調査 (前回)	回答数	2019年度卒 卒業時調査	回答数
上位	コミュニケーション教育	105	コミュニケーション教育	281	不得意科目の学習支援	120
	多職種連携教育	80	多職種連携教育	261	コミュニケーション教育	114
	不得意科目の学習支援	62	不得意科目の学習支援	134	多職種連携教育	103
下位	初年次教育	38	アクティブラーニング	93	初年次教育	94
	アクティブラーニング	36	初年次教育	86	アクティブラーニング	73
	ICT を利用した教育	30	ICT を利用した教育	79	ICT を利用した教育	33

・卒業時調査との比較としては、特別な違いはない。

○前回調査結果との主な違い

- ・上位下位構成に変化はなく、下位では初年次教育のランクが上がっている。

<問7- (3) : 今後充実させて欲しい施設>

	卒業生調査 (今回)	回答数	卒業生調査 (前回)	回答数	2019年度卒 卒業時調査	回答数
上位	食堂・コンビニ	103	食堂・コンビニ	239	食堂・コンビニ	175
	自習室	81	実習室	221	自習室	112
	学生ラウンジ	59	自習室	221	講義室	100
	講義室	47	学生ラウンジ	134	学生ラウンジ	99
	研究室	38	研究室	131	研究室	32
下位	研究機器	30	図書館	112	研究機器	28
	図書館	28	研究機器	95	図書館	19
	教育機器	22	講義室	84	実習室	14
	実習室	10	教育機器	72	教育機器	13

・卒業時調査との比較としては、特別な違いはない。

○前回調査結果との主な違い

- ・「実習室」が下位になり、「講義室」が上位となっている。

<問7-(4)：学生生活を通じて人間形成のために大学が何に力を入れることが望ましいか>

	卒業生調査 (今回)	回答数	卒業生調査 (前回)	回答数	2019年度卒 卒業時調査	回答数
上位	インターンシップ	92	インターンシップ	240	インターンシップ	84
	キャリア教育	87	キャリア教育	233	クラブ活動の支援	84
	海外留学の支援	62	海外留学の支援	186	海外留学の支援	84
	研究室での活動	48	クラブ活動の支援	149	キャリア教育	80
	クラブ活動の支援	47	地域貢献活動の支援	145	研究室での活動	79
下位	地域貢献活動の支援	41	研究室での活動	131	地域貢献活動の支援	29
	ボランティア活動の支援	36	ボランティア活動の支援	117	アドバイザー制度	23
	アドバイザー制度	30	アドバイザー制度	76	ボランティア活動の支援	20

・卒業時調査との比較としては、上位での「クラブ活動」のランクが低い。

○前回調査結果との主な違い

・「地域貢献活動の支援」が下位になり、「研究室での活動」が上位となっている。

<問8：生涯学習に関して本学に期待すること>

	卒業生調査 (今回)	回答数	卒業生調査 (前回)	回答数	2019年度卒 卒業時調査	回答数
上位	公開教育講座(講演会)の充実	80	公開教育講座(講演会)の充実	218	学会発表・論文作成の支援	89
	公開教育講座(実技講習会)の充実	58	公開教育講座(実技講習会)の充実	112	公開教育講座(実技講習会)の充実、通信講座	88
	通信講座	49	シリーズ研修会の実施	78	通信講座	88
	学会発表・論文作成の支援	49			公開教育講座(講演会)の充実	86
下位	シリーズ研修会の実施	43	通信講座	51	社会人大学院の充実	64
	社会人大学院の充実	23	学会発表・論文作成の支援	51	シリーズ研修会の実施	62
			社会人大学院の充実	33		

・卒業時調査との比較としては、上位での「学会発表・論文作成の支援」のランクが低い。

○前回調査結果との主な違い

・「シリーズ研修会の実施」が下位になり、「通信講座」「学会発表・論文作成の支援」が上位となっている。

<問10：転職予定と検討業種>

・転職予定は、23%という割合であった(前回調査19%)。

・検討業種の上位5つの回答は、薬局…24、ドラッグストア…12、病院…11(前回調査で最上位)、その他…7、公務員(行政)…3となった。